



今後の公共施設のあり方は
創新海クラブ 鈴木 守

今後、人口減少や超高齢社会が進む中で、新たな時代に対応した公共施設のあり方を考えていく必要があります。本市はいまだまちづくりの真つ最中ですが、今後

に備え25年第2回定例会で公共施設白書の早急な策定を要請をいたしました。総務省からも同様に計画策定の要請がされたと思

います。11月に策定された白書の内容は大変厳しいものです。市民サービスに対する影響を最小限に抑えながら、将来の市民の負担増にならないよう継続可能な維持管理を行わなければならないと思

います。市長の所見を伺います。
答 (市長) : 策定した白書で明らかですが、施設の維持管理に相当な経費が掛かっており、建物も時代の変化から求められるものが変わると思

います。将来に禍根を残さないよう、公共施設のあり方を検討します。
答 (理事兼財務部長) : 将来的に税収減少や扶助費の増額は避けられず、投資余力は小さくなります。また、年度ごとの費用変動幅が大きいと想定されるため、公共施設等あんしん基金を有効活用します。



適切な維持管理を

今後市民に対して積極的に情報提供を行い、市民の声を聞きながら進めます。



市民にわかりやすいホームページへ
志政会 志野 誠也

市のホームページの考え方と運用のあり方についてお聞きします。

また提案として、例えば来年度始まる予定の新住宅政策を一つのページにまとめるなど、所管課別ではなく目的別や特集ページの方が市民にとってわかりやすいと思

いますが、市の見解を伺います。
答 (市長) : 市のホームページは、ネット上における「市の顔」であり、情報発信の拠点でもあると考えています。

答 (市長室次長) : 市ホームページのトップページは、総務省が示した「みんなの公式サイト運用モデル」に沿って作成しています。また、ページ内のコンテンツの新規作成や更新については、市からの情報を適時・的確に提供できるよう、各所管課で行っています。作成にあたっては「海老名市公式ホームページ運営ガイドライン」に基づき、ホームページ作成担当者に、実務者研修を実施しています。

提案の目的別や特集ページの作成について、今後、組織横断的なプロジェクトが動く場合には、特殊ページのボタンを作成して、一つの入り口から事業全体の概要が把握できるような見せ方を検討します。

その他の質問

- ・ 機構改革について
- ・ 河原口地域における河川改修地域の今後の計画と市の関わりについて
- ・ 総合計画における基本構想について



公共施設のあり方について
日本共産党 松本 正幸

9月に海老名市公共施設使用料等に関する基本方針が策定され、公共施設の大型駐車場、駐輪場は27年度以降整備が整った段階で順次有料化とする方向とされました。

公共施設に関しては、28年度に予定している公共施設再編計画策定と併せて市民の意見を十分聞き、有料化を実施するか判断することとした。いずれも施設を利用する人、利用しない人が同額の税負担では不公平になるとされましたが、有料化を市民にお願いする理由が受益者負担の原則ではあまりにも説得力に欠けるもので

す。無料を続けるべきとの意見が多い中、中止せず計画通り実施していくのか、市の考えを伺います。
答 (市長) : 公共施設使用料等に関する基本方針は、有料化ありきの考えではなく、この方針をきっかけとして、市民の皆様のご意見を十分に伺いながら検討を進め、最終判断いたします。

答 (財務部長) : 公共施設に付帯の大型駐車場は、公共交通利用者も一定の費用負担があるとともに、目的外駐車が原因で本来の施設利用者が駐車できない状態を避けるためにも有料化すべきと考えています。

詳しい内容は会議録で

12月定例会の会議録を作成中です。3月までに市役所1階の情報公開コーナーや市内図書館で閲覧開始予定ですので、ご利用ください。市のホームページでも見ることが出来ます。



貧困世帯の学習支援は
市民・ネットの会 奥村 正憲

子どもの貧困対策に関する法律第8条に基づき、貧困対策に関する大綱が定められました。その中で生活貧困世帯への学習支援という項目があり、学習支援事業の実

施やひとり親世帯の子どもが気軽に相談できる児童訪問援助員派遣や、放課後の学習支援を充実させるなど、子どもの状況に配慮した支援の充実を図ることについて、閣議決定されました。市として子どもの貧困についてどのように考えているか。さらに各学校で実施している遊びっ子クラブでの学習支援の実施の可能性について、また生活保護世帯の学校外での学習支援実施についてあわせて伺います。
答 (市長) : 生活保護世帯の子どもたちは、現時点では希望に沿った進路に進んでいることから、適切な支援が行われていると考えますが、貧困によって将来が左右されることがあるならば支援してまいります。

答 (教育長) : 現在、あそびっ子クラブとは別に、新たにまなびっ子クラブとして放課後の学習できる環境を整えます。また、開所した教育支援センター「えびりーぶ」は、現在主に登校支援の施設ですが、学習支援施設の活用について今後研究してまいります。

その他の質問

- ・ 小中一貫教育について



幅広い支援をめざす